



こどもたちは、未来をつくっていく存在。
まち全体で、こどもたちを育んでいく——
それは、未来をすべての市民で育てていくこと

特 集

こども育つまち みと

問合せ／こども政策課(☎232-9176)

急速に進行している少子化。水戸市では、子育て世帯から選ばれるまちを目指し、今年度から、経済的負担の軽減と相談・支援の充実を柱とした、「こども育つまち・みと『みとっこ未来パッケージ』」を推進していきます。

＜ 国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(2018年推計)」 ＞

グラフ2 水戸市の総人口推計
(2015年、2020年は実績)

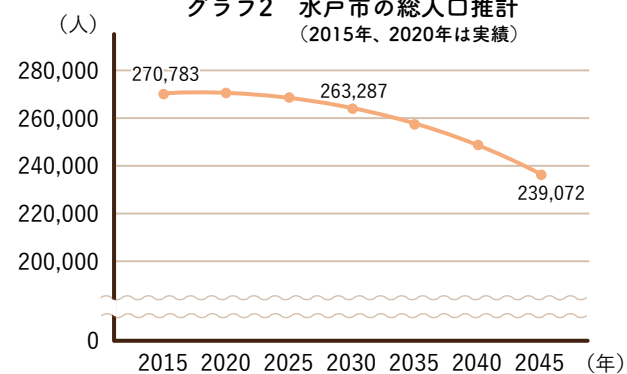


表2 水戸市の年齢区分別人口推計

	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
年少人口 (0～14歳)	30,665	28,719	26,900	25,455	23,868
生産年齢人口 (15～64歳)	158,797	152,805	144,478	132,885	123,635
高齢者人口 (65歳以上)	78,572	81,763	85,347	90,192	91,569
総人口	268,034	263,287	256,725	248,532	239,072

水戸市の人口は、2015年の27万783人をピークに減少しており、国立社会保障・人口問題研究所の2018年の推計によると、2030年には、26万3287人となり、さらに、2045年には、23万9072人にまで減少するとされています(グラフ2)。特に、0～14歳の年少人口については、2030年には、2万8719人、そして、2045年には、2万3868人にまで減少すると推計されています(表2)。

少子化の進行は、こどもの減少にとどまらず、将来的には、生産年齢人口、つまりは、労働力人口の減少につながり、**経済規模の縮小**を招くだけでなく、**地域社会の担い手も減少**してしまうことから、社会全体の活力の低下を引き起こす恐れがあります。

そのため、本市では、少子化対策を最優先で取り組んでいくべき課題として、「こども育つまち・みと『みとっこ未来パッケージ』」を打ち出し、子育て支援の更なる充実を図っていきます。

こどもが減るとなぜ困る？

グラフ1 水戸市の出生数

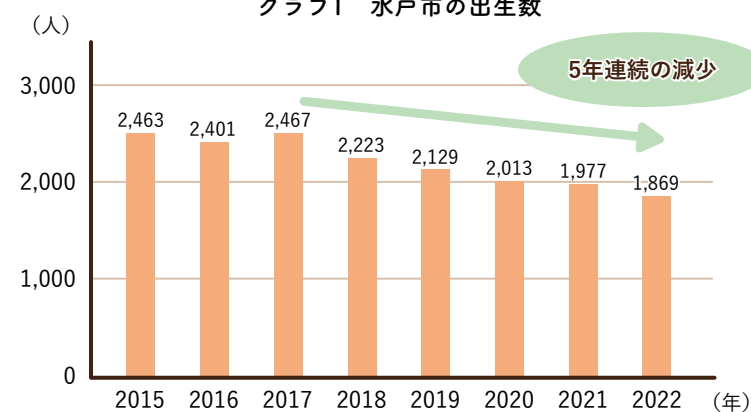


表1 水戸市と国の合計特殊出生率

	2010年	2020年
水戸市	1.46	1.39
国	1.39	1.33

※水戸市の数値はデジタルイノベーション課、国の数値は厚生労働省「人口動態調査」のデータをもとに作成。

水戸市において1年間に生まれるこどもの数(出生数)をみると、2017年までは、2400人を超える状況が続いていました。しかしながら、2021年には、ついに2000人を下回り、2022年は1869人にまで減少するなど、少子化が進行しています(グラフ1)。

また、1人の女性が生涯に生む見込みのこどもの数を示す**合計特殊出生率**は、2010年の1.46(国は1.39)から2020年は1.39(国は1.33)と、**人口を維持できるとされている2.07(人口置換水準)を大きく下回っています(表1)。**

水戸市の少子化が進んでいます

拡 結婚新生活支援

結婚に伴う住宅購入費、住宅賃借料などを支援します。29歳以下の夫婦の支援を拡充しました。
問合せ▶こども政策課

拡 子育て世帯まちなか居住支援

子育て世帯が対象区域(三の丸、五軒、新荘、常磐小学校区の一部)に住宅を取得した費用を支援します。多子世帯に対する加算額を増額しました。
問合せ▶住宅政策課

拡 東京圏からの移住支援

東京圏から水戸市へ移住した方に対して、支援金を支給します。子育て加算を30万円から100万円に増額しました。
問合せ▶住宅政策課

新 小・中学校新入生応援金

小学校・中学校新1年生となる年齢のこどもを養育する世帯に対して、応援金を支給します。
支給額▶こども1人あたり3万円
問合せ▶こども政策課

新 中学校給食費の無償化

市立中学校の給食費(月額4,500円)を無償化しました。
問合せ▶学校保健給食課

既 医療福祉費助成(子どもマル福)

こども(0歳～高校3年生相当)の医療費を助成します。中学生以上の外来は市独自で助成しています。※所得制限はありません。
問合せ▶国保年金課

既 0～2歳児保育料の軽減(市独自の負担軽減)

問合せ▶幼児保育課

新 出産・子育て応援ギフト

妊婦や子育て世帯を支援するため、妊娠時と出産後に給付金を支給します。
支給額▶妊娠時…5万円
出産後…こども1人あたり5万円
問合せ▶こども政策課

新 多胎妊娠の妊婦健診助成

多胎妊婦の健診を5回分まで追加助成します。
問合せ▶子育て支援課

拡 不妊治療費の助成

不妊治療費の自己負担分を助成します。すべての治療が保険適用外となる方への助成を拡充しました。
問合せ▶子育て支援課

既 ・医療福祉費助成(妊産婦マル福)

問合せ▶国保年金課

・新生児聴覚検査助成

問合せ▶子育て支援課

・不育症治療費助成

問合せ▶子育て支援課

妊娠・出産

経済的負担の軽減

「みとっこ未来パッケージ」の 主な事業を紹介します

みとっこは、水戸市のすべてのこどもたち。「こども」は、それぞれが個人として尊重されるべき存在であるとともに、未来を生きていく、未来をつくっていく存在です。いわば、「まちの未来」そのものであるといえます。こどもをまち全体で育んでいくということは、そのまの未来をすべての市民で育てていくことです。

新 … 新規事業 既 … 既存事業

拡 … 拡充事業

問合せ先一覧

こども政策課▶ ☎232-9176

子育て支援課▶ ☎350-1216

幼児保育課▶ ☎232-9243

国保年金課
(医療給付係)▶ ☎232-9166

生活福祉課▶ ☎232-9171

住宅政策課▶ ☎232-9222

学校保健給食課▶ ☎306-8627

こども・子育て関連手続き などのDXを進めます！

新 みとっこ子育て応援アプリの導入

子育てに関する情報を受取ることができ、こどもの成長の記録などができるアプリを導入しました。
問合せ▶子育て支援課

新 保育所などの入所手続きについて、LINE アプリを利用した「書かない窓口」の導入

既 子育てサービスなどのオンライン予約

スマホから、わんぱーく・みと、はみんぐばーく・みとのイベントや一時預かりの事前予約ができます。
問合せ▶こども政策課

相談・支援の拡充

新 妊婦や子育て世帯への寄り添い支援 (伴走型相談支援)

妊娠時、妊娠8か月前後、出産後に相談支援を実施します。
問合せ▶子育て支援課

新 子育て世帯訪問支援

満1歳未満のこどもを持つ、子育てに不安を抱える世帯などを訪問し、家事や育児を支援します。
問合せ▶子育て支援課

既 産後ケア、母乳育児相談

問合せ▶子育て支援課

市役所まで
申請に行くのが大変…
そんな方に！

子育て情報の詳細はこちら！

掲載されている事業や、その他の支援事業などについては、「水戸市子育てナビ みとっこ1丁目」をご覧ください。



いろいろな探し方で
知りたい情報が
すぐ見つかる！

場面から探す

「知りたい」「相談したい」
「参加したい」といった場
面から情報を探せます。

年齢で探す

「生まれるまで」「未就学
児」「小中学生」などの年
齢別で情報を探せます。

キーワード検索

知りたい情報のキー
ワードを入力して、情
報を探せます。

拡 放課後児童の居場所づくり

放課後のこどもの居場所として、市立小学校において、放課後学級を開設しています。タブレット端末を利用した学習ができるよう、Wi-Fi環境を整備します。
開設場所▶すべての市立小学校、義務教育学校(33校)
問合せ▶こども政策課

拡 こどもの学習・生活支援

生活困窮世帯のこどもを対象とする学習会を開催しています。会場を6会場から8会場に拡充します。
問合せ▶生活福祉課

既 市民センターを活用した子育て支援

▼市民センター子育て広場

こどもや保護者が気軽につどい、交流できる遊び場を開設しています。
開設場所▶市内33市民センター
問合せ▶こども政策課

▼こどもスペース

小学生が、遊びや勉強などで自由に使える場所を開設しています。

市民センター	開設曜日	開設時間
酒門、桜川、堀原、柳河	月・水曜日	15:00～17:00
大場、内原、千波	火・木曜日	

問合せ▶こども政策課